

らくさい

京都洛西観音霊場札所案内





観音さまの心

会長 掃部光暢

この度、平成十一年は洛西観音霊場が再開されて、二十年と成ります。この歳月を記念して、記念号を作製し、益々観音さまの心を具現致し度き所存で有ります。

さて、観音さまは法華經の中の普門品第二十五に、詳しく記載されて有り、又般若心經にも述べられて居ます。吾々仏教徒と致しましては、一番親しまれる菩薩さまで有ります。其の観音さまの心を申しますと、普門品には無尽意菩薩が司会者で、観音さまは如何なる菩薩ですかと、お釈迦さまに質問されます。お釈迦さま申されるには、観音さまを一心に称名すれば、即ち南無観世音菩薩と称うれば、吾々の願い事を適えて下さる菩薩さまで有ります。吾々凡夫は恒に三毒と申す悪い心に悩み苦しんで居ります。即ち五欲の煩惱で有り、五つとは、財欲・色欲・飲欲・名欲・睡眠欲で有り、お経には特に色欲を申されて居ります。この色欲は家庭の明るさを潰し、世間を騒せます。次に三毒の第二は瞋恚即ち怒りで有ります。諺に「怒りは敵と思え」と申されて居り心すべき事です。第三は愚癡と申され、仏教では無常を説かれて居ります。常づね変り行くのが此の世で有ります。この三つは何れも身を亡ぼし、他を害し、不知と成ります。そこでこの解決法は一心に称名しなさい、慈悲の心が災難を救って吾々を護って下さいます。又観音さまは、ありとあらゆる姿と成って説法される為に施無畏者と申し、恐れなき菩薩さまで有ります。

以上簡単に申しましたが、吾々は観音さまを恒に心に抱き、称え、皆々共に楽しい明るい家庭を作り、拝み合ふ心、感謝の心、なごやかな和の心が観音さまの教で有ります。恒に霊場を巡拝して同行二人吾々は観音さまに護られて生きて生かされて人生で有り、これに過ぎたる幸は有りません。



京都市西京区大原野小塩町1372
電話075 (331) 0020

当山は、長元二年（一〇二九）源算上人の開山である。源算上人は、恵心僧都の高弟で、因幡（鳥取）に生まれ、横川（比叡山）の恵心僧都に従い、顕密の蘊奥を極め四十七歳の時、当山に入られ小堂を結び、十一面千手観音の像を刻み本尊となし、仏法を興隆された。長元七年九月、後一条天皇より、鎮護国家の勅願所と定められ良峰寺の寺号及び聖詠を賜った。

“野をもすぎ 山路に向う雨の空
よしみねよりもはるる夕立”

以来歴朝の御崇敬篤く、長久三年、後朱雀天皇、洛東鷲尾寺より本尊仁弘法師作、千手観音像を当山に遷して本尊とし、先の十一面千手観音像を脇立とされた。

第一番 善峯寺



京都市西京区大原野石作町
電話075 (331) 0023

第二番 金蔵寺

今より一二八一年前（養老二年）元正天皇の勅願により隆豊禪師が開創したのが金蔵寺である。御本尊・十一面観音菩薩は、開祖隆豊と山主向日明神の合作と伝えられている。全盛時代には七堂塔伽藍四十九院を数えたが、数々の兵火で焼失し、現在の建物は、江戸時代元禄年間に五代將軍綱吉公の御聖母桂昌院が幼少の恩に報いる為、再建したものである。

また、明治初年に、神仏分離令により元愛宕山白雲寺の御本尊・火防將軍愛宕大権現を権現堂に安置している。



京都市西京区大原野塩小町481
電話175 (331) 0154

第三番 十輪寺

花山法皇が、荒廃している西国三十三所を嘆いてその再興を発願された。法皇一刀三礼ご自作の十一面観世音菩薩の尊像を背負って巡礼し目的を達成した。最後に当寺に参詣され本尊延命地藏菩薩の靈験に驚嘆し自らのお手判を木片に押印し背負いの観音像を納め、伽藍建立仏供料として数百石の寺録を賜った。世にこれを草分観音、おいする観音と称して、西国巡礼の時は必ず当寺に立寄って、安泰を願うようになった。



京都市西京区大原野南春日町651
電話075 (331) 0124

第四番 西迎寺

民家の間の小径の奥にある西迎寺は、永禄の頃戦乱に巻き込まれ滅びた長沢市政の菩提を弔う為に、市政の館跡に建てられた寺院である。創建は天正四年。二尊院から迎えた明阿上人が開山した為、二尊院同様、阿弥陀と釈迦の二尊を本尊としている。境内の「墓党」と呼ばれる墓所には歴代の住職の墓が残っており、参道わきには、二代目住職で市政の弟、小納言房松運にちなみ「小納言坂」と呼ばれる小さな坂がある。

また、由来不明の「春日観音」と呼ばれる観音様が安置され、女性信者により定期的に観音講が催されている。

公園墓地

柳谷聖苑

柳谷楊谷寺の直営霊園です

総受付所 (075) 957-7616
石材部 (075) 957-0007

第五番 三鈷寺



京都市西京区大原野石作町1323
電話075 (331) 0022

平安中期の長久三年（一〇四二）源算上人がこの地に草庵を結び、往生院と号したのが始まりで、建保元年（一一二一）法然上人門下の西山上人証空（善恵国師）がここを不断如法念仏道場とするともに名も三鈷寺とあらためた。これは背後の山容が密具の三鈷に似ているからといわれる。中世は浄土宗西山派の根本道場として多くの寺領や末寺を有した。

本堂の前からの眺望は大変すばらしく、江戸時代に書かれた「都名所図絵」に「二大仏七城俯瞰の地」と記され、京都市内、宇治方面が一望できる。

番外 正法寺



京都市西京区大原野南春日町1102
電話075 (331) 0105

唐からの渡来僧で鑑真和尚の高弟であつた智威大徳が隠世されたのが当山の始まりと伝えられる。御本尊は御丈二メートル六〇センチ余の千手観音。頭上の化仏のほか、本面左右にも独立した化仏を配した、三面形式の珍しい像である。また弘法大師御自作と伝わる聖観音は、古くから西山の厄除け観音として信仰を集めてきた。

境内の石庭は、京都市街や東山連峰を見はるかす借景庭園として人気がある。



洛西・大原野散策の味どころ

会席料理
宝楽焼



ぶへい

京・西京区大原野神社西入
TEL (075) 331-2248 (代) 0120-2248-45
10名様よりマイクロバス送迎いたします／午前11時～午後9時30分



長岡京市今里3丁目14-7
電話075 (951) 5759

寺伝によると当山は六四〇年頃、推古天皇勅願、聖徳太子が十一面観世音菩薩を本尊として創建された乙訓地方最古の寺である。弘法大師は弘仁二年（八一）乙訓寺の別当に嵯峨天皇から任命され、この寺に在住された。現在の御本尊は大師が造られたと言われる秘仏である合鉢大師であり三十三年毎に開扉がされている。現在の十一面観世音菩薩は、長谷型といわれるお姿で本堂内に安置されている。陽春には二千株のぼたんが見事に咲く。

（地図は六ページ）

第六番 乙訓寺



長岡京市栗生西条ノ内二六
電話〇七五（九五五）〇〇〇二

総本山光明寺は法然上人が最初に念仏の教えを説かれた立教開宗の地である。建久九年（一一八九）に弟子の熊谷蓮生法師により建立された。上人滅後に御遺骸を奈毘にふし御芳骨を御本廟に納めた。三十二棟の伽藍を配し、観音堂の十一面千手千眼観音立像は恵心僧都作（平安時代の作、木造）と伝えられており高さは五尺三寸（一メートル六〇センチ）ある。現在は国の重要文化財に指定され、京都国立博物館に寄託されている。

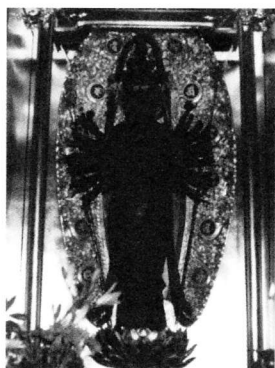
第七番 光明寺



長岡京市栗生清水谷
※集印は七番光明寺で受付

寺伝によれば、当寺は元天台宗に属し、栗生山観音寺と号し、奈良時代の創建といわれる。文献上では室町時代の初めに見られ、江戸時代末『都名所図絵』にも紹介されている。

第八番 観音寺



長岡京市長法寺谷田一六
電話〇七五（九五二）九〇七五

当山は十一面観音を本尊としている。

寺伝によると延喜十年三井寺の智証大師の弟子千観が諸国巡歴の途中この地に立ち寄り、夢告によって一堂を建立された。

長法寺は七堂伽藍、坊舎十二院があつたが、応仁の兵乱で全山が焼亡したといわれている。平成二年の本堂再建に先立って行った発掘調査で、本堂下から平安時代の礎石建物が発見され、寺の歴史を裏付ける結果ともなった。境内西北隅に「湧泉」があり、清涼な水が厳庭から湧き出、寺を清厳山と号するものためののである。

第九番 長法寺

一隅を照らそう

洛西観音霊場第九番札所

小動物供養所

天台宗 清厳山 長法寺

〒617-0812 長岡京市長法寺谷田16 電話 (075) 951-9075

第十番 柳谷奥ノ院

当山柳谷観音楊谷寺は、大同元年（八〇六）京都東山清水寺の開創でもある延鎮僧都によって開山された。第二世は眼病に靈験あらたかな靈水、独鈷水（おこうすい）を発見し加持祈禱を施された弘法大師空海を仰ぎ、第三世には恵心僧都が入山され、お念仏の教えを流布された。当山の本堂には御本尊十一面千手千眼観音が祀られ、平成十年には八百年ぶりの復元修理が施された。

当山は新西国十七番札所に指定されたが、洛西札所十番の奥の院の御本尊千手観音は、中御門天皇の勅刻で江戸時代中期に宮中より奉移されたものである。



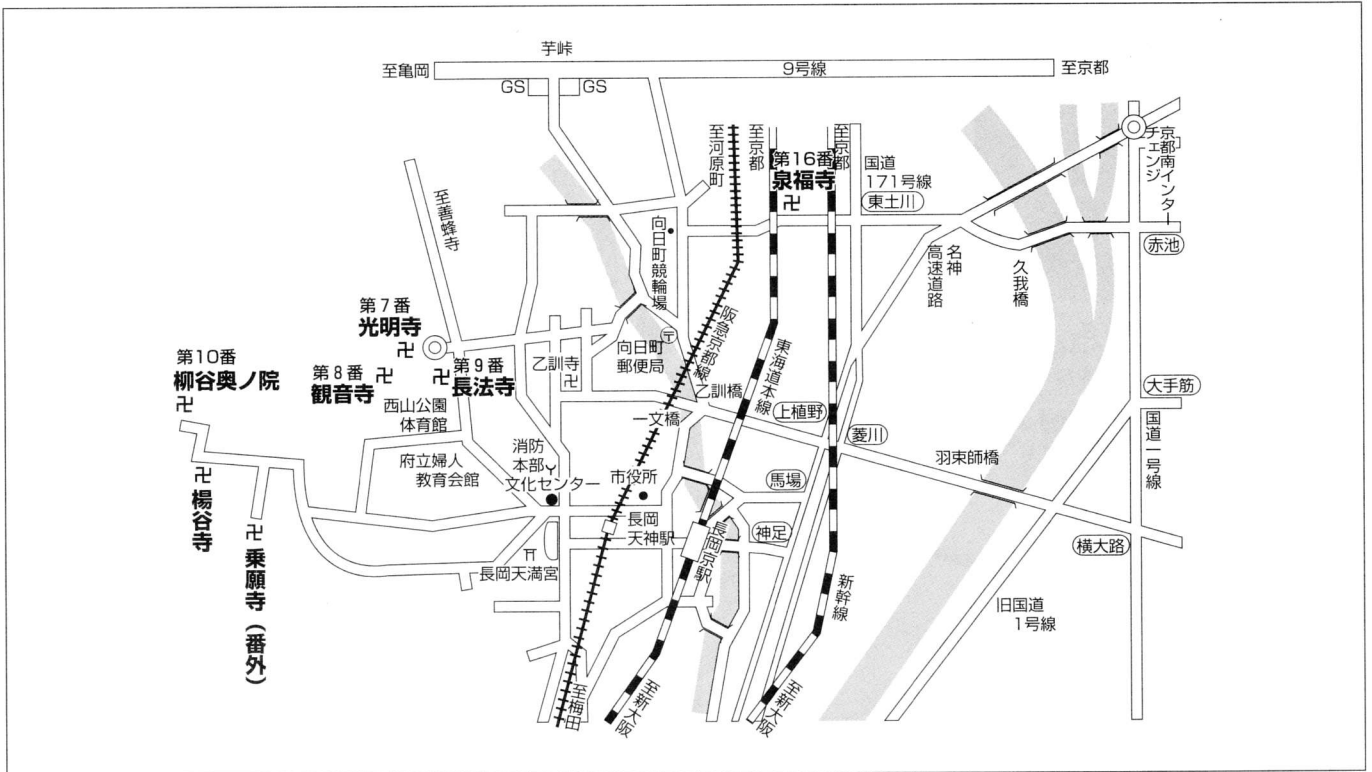
長岡京市浄土谷堂ノ谷2
電話075 (956) 0017 (楊谷寺)

番外 乗願寺

西山連峰の浄土谷（柳谷）大沢一帯には行基菩薩や弘法大師の足跡があり、天延年間（又は長徳）に恵心僧都が入山し山中の大石で修行すると弥陀の奇瑞を感じし乗願寺を創建された。二十余年のち都から寂因が入山し念仏三昧の内に弥陀を感じし三十余年を過ぎ、久安六年奇瑞を顕わして西方浄土に往生した。四十九年のち法然は『選択集』を著し浄土宗を開かれたが、ご本尊の丈六阿弥陀仏座像はこの頃（平安後期）に造られたという、しかし寺伝には開山恵心僧都の作と伝える。また洛西観音霊場番外のご本尊の観音立像を伝えている。



長岡京市浄土谷堂ノ谷四
電話〇七五（九五七）四一四八



株式会社 乙訓

葬儀

乙訓葬祭

〒617-0853 長岡京市奥海印寺東山 15-7

電話 075-952-1520 FAX 075-954-0042

第十一番 正覚寺

当山正覚寺は江戸初期の寛永年間（一六二四～一六四三）に鏡空開導上人によって創建された寺である。当山には度重なる戦火や水害、そして明治の廃仏毀釈などの政治的な迫害で廃寺となった寺院の宝物を収めており、札所となっている総高二尺足らずの千手観音座像もそのひとつである。この像は淀川べりにあった帰海印寺の宝物であったと伝えられている。この寺は歌舞伎の「俊寛」ゆかりの寺で鹿ヶ谷事件で鬼界ヶ島に流罪となり没した僧俊寛を弔うため、放免となって帰洛した平康頼が建立した寺と言い伝えられている。

第十二番 卒台寺

当寺は、弘法大師が弘仁年間に開基したとされる。御本尊は平安の十世紀の作で左足立て膝で「衆生の苦を救う」延命地藏尊。右脇壇には十一面千手施業観音がまつられている。また御本尊の左脇に毘沙門天、右に不動明王が安置されている。この不動明王は、天保年間、京都の商家が当山で授戒を受け、その後満願成就を記念して報恩のため、親族が寄進した尊像である。そして、しだれ桜が十三法輪塔に寄り添うように植えられているのは、何とも言いえない風情がある。

第十三番 観音寺

ハナモモの木々が葉を茂らせている観音寺は風情のある寺である。道路から参道がまっすぐのび、中ほどに門、一番奥に寺院の玄関が見える。参道わきは背丈ほどの生け垣が続き、門の奥には境内の植え込みが整っている。本尊の十一面観音菩薩座像は、南北朝時代に吉野で悲運の生涯を閉じた後醍醐天皇の霊を慰めるため、息子の後村上天皇が僧・舜悟に命じて仏師・秀弁に作らせたものである。舜悟とは何者かは今だ不明であるが、南朝の隆盛を願うノミをふるった秀弁の思いが伝わってくる様である。

第十四番 勝龍寺

真言三宝宗の末寺。本尊は十一面観音で鎌倉時代の重要文化財である。寺伝によると大同元年（八〇六）に帰朝した空海が唐の長安で学んだ青龍寺の名を取り開基。応仁二年（九八二）の大干ばつの際、千観和尚の雨乞いの効験により勝龍寺と改名したという。元応元年（一三一九）に鋳造された鐘が大阪府能勢町の真如寺に残り大阪府の指定文化財となっている。同寺は山崎の合戦等で堂宇を焼失し再建された観音堂から当時の面影が偲ばれる。



乙訓郡大山崎町下植野宮脇九九
電話〇七五（九五六）〇三二二



長岡京市馬場一丁目二、一四
電話〇七五（九五二）〇六四一



長岡京市東神足二丁目二、一四
電話〇七五（九五六）四七八〇



長岡京市勝龍寺19-25
電話075 (951) 6906

京仏壇・京仏具製作販売

老舗 乾大佛堂



御用達

総本山

京都市下京区寺町通り松原南入
7-7-1 0120-33-5127

TEL 075-351-5127
FAX 075-371-3790

第十五番 観音寺



※集印は六番乙訓寺で受付
電話075 (931) 2907

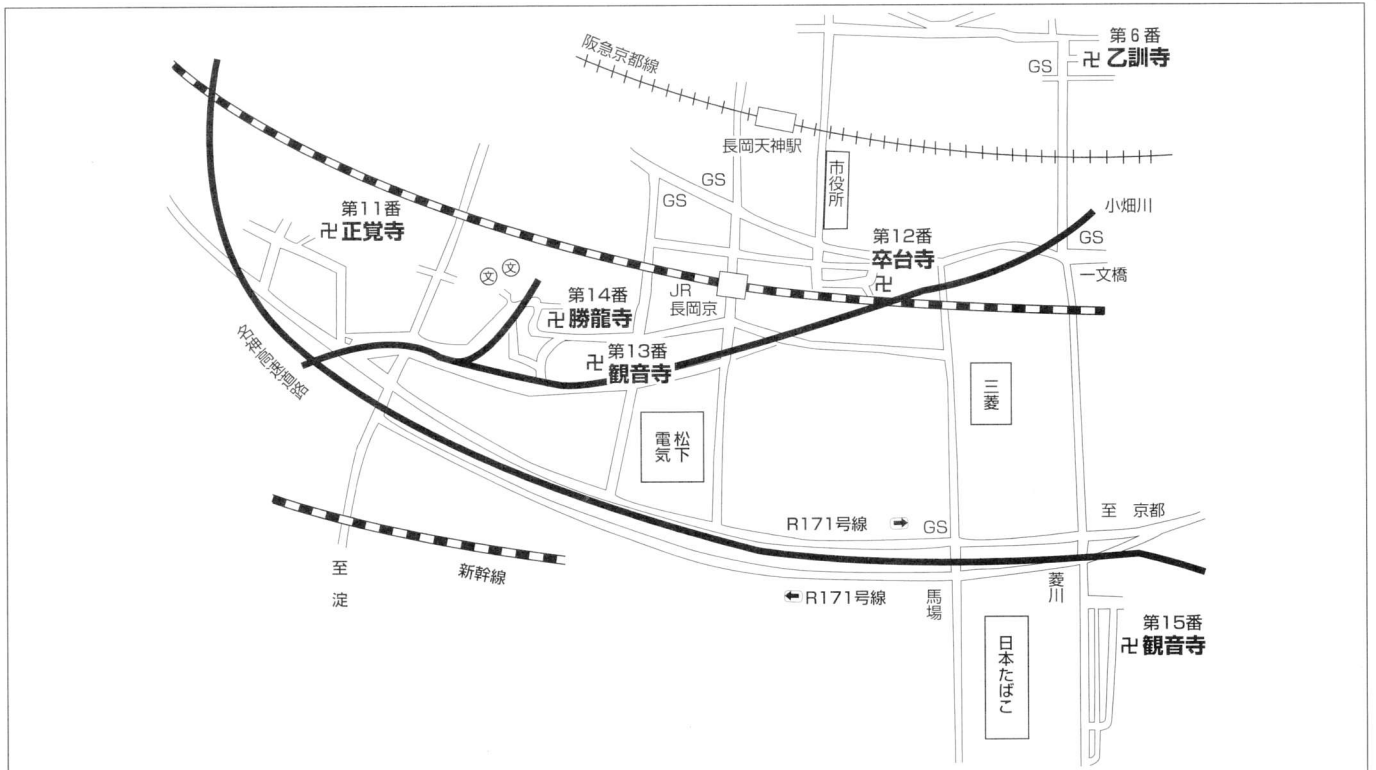
第十六番 泉福寺



向日市森本町4ノ坪30-2
電話075 (921) 3888

当山は西国三十三ヶ所観音霊場巡拝の開祖と呼ばれる徳道上人が、養老六年（七二二）に開創され、ご本尊は長谷型十一面観世音菩薩である。ご本尊は日頃は秘仏として拝することは出来ないが、毎年一月八日の「おこない」（祈禱会）の時のみ開扉されている。

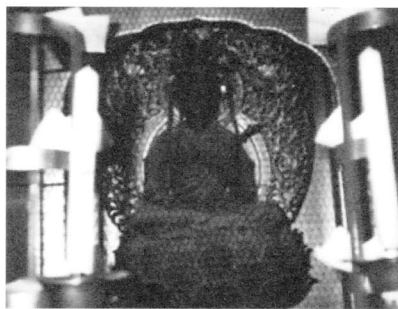
本尊は京都には珍しい不空羅索観世音菩薩で、寺伝では、桓武天皇が長岡京から平安京への遷幸の途次、その下に番雨を避けられた松樹を刻したものであると伝えられる。後に改刻されたとらしく、現本尊は室町時代のものである。寺の旧所在地は小字春日井で春日明神と境内を接し、奈良、長岡京、平安京への遷都に由緒のある寺である。本尊は三目観音と通称され眼疾に霊驗あらたかで近郷の尊崇を受けた。昭和六十二年（一九八七）九月に現本堂庫裡一新落慶した。（地図は四ページ）



京料理

井 多 木

JR長岡京駅前上ル 電(954)6239・(951)1559



京都市南区久世大藪町319
電話075 (921) 5269



京都市南区久世上久世町629
電話075 (921) 7051



京都市南区久世築山町42
電話075 (921) 3831



京都市南区久世上久世町826
電話075 (921) 3625

第十七番
万福寺

口伝によると当山は、比叡山延暦寺の第三世慈覚大師円仁の創建で、当地巡錫の折、村人たちの親身な應待に報いるため、聖観音像を贈ることを発願、三礼一刀の儀軌に則り彫刻されたものを、後に本尊として創建された。

度々の類火を免れたことから「火除の観音」と俗称され、諸方からの善男善女の参詣が絶えず、戦前、九月八日（八日薬師の日）には晴雨を問わず錚々講を営み、村中安全祈願の百万遍が営まれた。

番外
安禅寺

当山は後花園天皇の長女「安禅寺の宮」の開基と伝えられ二十三代中興開山義空栖雲和上により元禄年間現在地に建立された。観音堂には西国三十三札所の観音菩薩をミニの姿として三十三体安置されている。

かつて当地は桂川の氾濫自然の脅威に泣いた農民達を温かく見守ってこられた観音菩薩に帰依しお縋りしたに相違ない。今もさまざまな風習となつて親しまれ町内の青年達が西国巡礼の出發にさきがけで詠歌をあげ道中の無事を家族と共に祈った。この時の巡礼仲間は西国連中と呼ばれ一生固い付き合いが続いている。

第十八番
西圓寺

西圓寺のある久世築山町は南北朝以前に開拓された小さな農村集落で、かつては南北の川（現在は用水路）を境に「ひがしんじょ（東側）」と「にしんじょ（西側）」とに分かれていた。西圓寺はその「にしんじょ」の中央に位置する。近くを流れる桂川が増水しても川底より高位置にあるため浸水することはないが、文化五年（一八〇八）の火災で記録文献は焼失。かろうじて本尊の阿弥陀如来と十一面観音は難を逃がれ、現在も毎月十八日には観音講が行われ、ご詠歌が捧げられる。

第十九番
蔵王堂光福寺

当寺は天曆九年（九五四）吉野金峰山で蔵王権現を感得した浄蔵貴所が、第六十二代村上天皇の勅願により、平安京の表裏門比叡山に対し、西南角の裏鬼門にあたるこの地に蔵王権現を祀り創建したと伝えられている。

京の七つの森の一つ「蔵王の森」に数えられる境内は楠などの林におおわれ、蔵王堂、薬師堂、不動堂などの堂宇が点在し、毎年八月朔日に行われる無形文化財久世六斎念仏は、当寺が発祥とされる。

宇治茶とお食事処



善峰寺参道

畑 井



電話 075-331-0902

第二十番 称讃寺

称讃寺は浄土宗西山禅林派の末寺であるが、真言系統の観音寺を明治十二年吸収合併し今日に及んでいる。

明治四十二年称讃寺の本堂が全焼して以来、観音堂を本堂としてきた。

ところが改築計画が進み、平成十一年七月解体し終り、新本堂の完成は十三年が予定されている。

当時の十一面千手観世音菩薩は、延鎮僧都の作と伝えられ、残されている木版刷りの観音像は清水寺様式をとり、頭上で合掌しているが、彫像の方にはそれが見られない。

元禄十一年に書かれた縁起の巻物がある。三十三年毎に開帳大法要を営んでいる。

(地図は十ページ)



京都市西京区牛ヶ瀬青柳町二四
電話〇七五(三八一)八〇八三

第二十一番 長福寺

当山観音堂の御本尊・十一面

観音菩薩は、八尺余りの尊像で「結びの観音」と称されている。

仁明天皇の承和十五年叡山の高

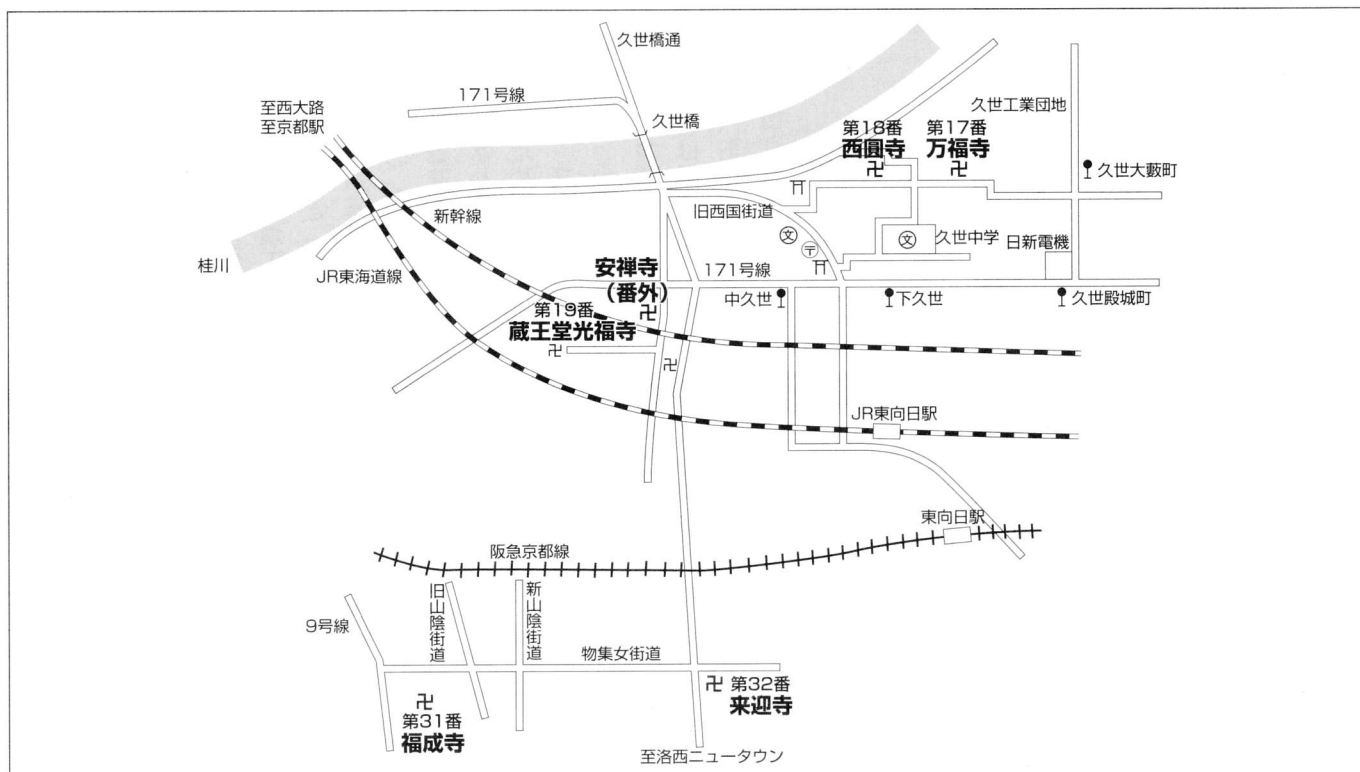
層・慈覚大師の作とされ叡山に安置されていたのを、高倉天皇により松室の峰々堂の本尊として移された。その後応仁の乱等、兵火を逃れ軒々と難を避けて、下津林村の五社神社の傍らに建立され、永福寺と号された。その後、長福寺に合併され今日に至る。

また、平成七年の阪神大震災により、倒壊寸前となった五社神社の観音堂が現在、長福寺の堂内に新たに増築されている。

(地図は十ページ)



京都市西京区下津林楠町一〇五
電話〇七五(三八一)二九六六

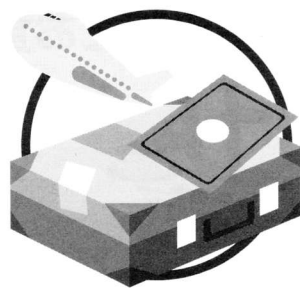


旅 わくわく
株式会社

ツアーランド

阪急長岡天神駅前 アスポビル2階

電話 075-951-6660





京都市西京区川島北裏町125

松尾七社の一つ、大宮社の赤い鳥居をくぐると左手の一角に常楽寺のお堂がある。

中に入ると、十畳ほどの広間正面に三体の像がまつてあり、真ん中が厄除け・安産の千手観音、左は地藏菩薩、そして右が釈迦薬師如来。この寺院は無住職で、地元のお年寄りが毎日交代で二人ずつ常駐している。お年寄りには、永い間ほったらかし状態だった霊場が復活されたことや、仲間同士の憩いの場が生まれたことがよほどうれしいうた。

社の前は山陰街道、明治まではラッパを鳴らしながら馬車が行き交ったところである。

第二十二番 常楽寺



京都市西京区桂春日町9
電話075 (381) 3538

京都六地藏巡りの霊場の一つである地藏寺は、本堂に地藏菩薩をいただき、本堂東側の薬師堂に鎌倉初期石仏である薬師如来（秘仏）が安置されている。

その両脇に静かに二体の観音菩薩像がある。この二体の観音菩薩が、第二十三番・第二十四番に数えられるものである。それぞれ詳細な縁起は伝わっていないが、共に優しき御姿を私たちの目にも心にも映してくれている。

共に地藏寺に遷座されることになったのは、地藏菩薩と同じように古くより庶民の信仰を多く集めていたからかもしれない。観音菩薩は、別名観自在菩薩ともいわれ、娑婆世界で苦しむ衆

第二十三番 地藏寺

第二十四番 念仏寺



京都市西京区桂久方町

生を常に見つめており、その中で苦痛や不幸に喘ぐ衆生を神通によって救済しようと願いをたてた。また、地藏菩薩は六道輪廻に迷う衆生を導き、薬師如来は妙薬である甘露水によって病気に苦しむ衆生を癒す。

私たちはこの世界に生まれてから今までに、何か苦しみを抱くことがあるだろう。そのとき苦しみから救ってくれるものを求めている。その願いが形をもつて現れたものが、これからの如来や菩薩の御姿なのだと思える。

薬師如来の両脇の二つの観音菩薩像は、そのような私たちの想いを全て知っているかに思える面相や形相を具えている。また何度も修理を行い、装飾を施してきた様子からも、多くの人々の信仰を集め、その願いを受け止めて来たのだろう。

二十四番念仏寺の集印は二十三番地藏寺で受付けます。

第二十五番 阿弥陀寺



京都市西京区桂千代原町二二
電話〇七五 (三八二) 六〇一四

阪急京都線と嵐山線を通り抜ける千代原へ入ると、昔はこの地に観音寺があり、そこでは、西国巡礼の若者の観音講が盛んであった。

奉安されている仏像は、旧法華山寺のものであったと伝えられているが、現在、観音寺は廃寺になり、付近一帯は住宅地になって寺跡さえも見られない。また、千代原観音と称する阿弥陀寺も、民家のような建物にとこ狭しと千手観音像が安置され、境内には身丈四メートルの千手観音が奉安され、悪病除けの観音像と信仰されていた。

そしてその後尼寺となり、明治になって荒廃。昭和三十六年、現住持が入山し、寺は再建された。

TEL 075 (951) 1688 FAX 075 (954) 0134
リダイヤル 0120-291824

ハウスクリーニングのことなら
House Cleaning

阿部商会
Abe Shokai

株式会社 阿部商会 〒617-0828 京都府長岡京市馬場見場走り 5-55



こころ文化の21世紀
中信
CHUSHIN

夢の半径、広がるね。

心に芽生えた夢が、やがて確かな実感へ。
私たち中信は、皆様方との親しいおつきあいを通じて、より豊かな暮らしのお手伝いをしてまいります。

長岡支店
イズミヤ長岡店前
☎(954)3121

向日町支店
向陽小学校横
☎(924)5391

今里支店
今里4丁目16番地1号
☎(955)5001

第二十六番
長恩寺

千光寺のお堂入り口にかかっている額に、菊の紋のはがされた跡がかすかに残っており、ときの靈元天皇が乳母と恋に陥ったエピソードから、皇室との関係が深かったらしいことがわかる。

第二十七番
觀世寺

The map shows the following locations:

- Top Left:** 米屋 (Miyaya), すし清 (Sushi Kiyoharu), 第25番 阿弥陀寺 (Ji 25 Ban Amida-ji).
- Top Center:** 文桂小学校 (Fukigai Shogaku), 山脇医院 (Yamauchi Eiken), 阪急桂駅 (Hankyu Kikyo Station), 至西京極 (To Seikyogoku).
- Center Left:** 大菩社 (Daikoku-ji), 第22番 常楽寺 (Ji 22 Ban Joze-ji), 文川岡小学校 (Fukigai Gakko), スーパー北野 (Super Kitanobu), 至亀岡 (To Kameoka).
- Center Right:** GS, 西山別院 (Seizan Betsuin), 文川岡小学校 (Fukigai Gakko), アサヒビル (Asahi Building), アトムボーイ (Atom Boy), 阪急住宅 (Hankyu Housing), 自衛隊桂部隊 (Jieitai Kikyo Hachibu-tai).
- Bottom Left:** 至大坂 (To Osaka).
- Bottom Center:** 桂警察出張所 (Kikyo Keisatsu Shuchangsho), 桂消防署 (Kikyo Shobou-sho).
- Bottom Right:** 第21番 長福寺 (Ji 21 Ban Chofuku-ji), 元永福寺 (Gen Eifuku-ji), 五社神社 (Gosha Jinja), 第20番 称讃寺 (Ji 20 Ban Shonzan-ji), JR東海道線 (JR Tokaido Line).
- Far Right:** 第24番 念仏寺 (Ji 24 Ban Nenbutsu-ji), 至桂大橋 (To Kikyo Ohashi).

— 10 —



京都市西京区嵐山山ノ下町15
電話075 (871) 4939



京都市西京区嵐山山田町1
電話075 (861) 1986



京都市西京区山田開キ町九
電話075 (381) 6029



京都市西京区榎原内垣外町二四
電話〇七五(三九一)〇四三四

第二十八番 蔵泉庵

狭い石段を上がると門の右手前に「不許酒肉五辛入庵門」と刻まれた碑が目につく尼寺・蔵泉庵がある。本山は、相国寺で室町時代の創建と云つ。

隠居寺で、本堂に小さな造りであるが、庭が美しい。山続きに苔むし、石踏みが二筋、そして季節には木々の花が美しく咲く。特に、雨上がりには一段と鮮やかさを増す。そして、観光客はほとんどないが、その東に比叡山が真正面に見え、桂川越しに京の町が一望でき、晴れた日には桃山城も見える「穴場」が魅力である。

第二十九番 西光院

旧松尾街道の北、数分で渡月橋に行き着く道を、南に行くと二尊山西光院がある。

西行の庵を起源にする西光寺と西光庵、長い歴史を守り続けた二寺は、現在合体し、子育て観音を安置する、西行法師ゆかりのお寺となっている。もとの二寺の阿弥陀如来が二体安置されていることが、二尊山の名前に由来する。

また、西光院から旧街道に張り出すたった一本の桜の太木がある。西行桜と言われ、毎春美しい花を咲かせて地元の人達の目を楽しませている。

第三十番 浄住寺

八一〇年、嵯峨天皇の勅願で慈覚大師円仁が天台宗「常住寺」を開創、釈尊の歯を安置した。

一二六一年、葉室定嗣が興正菩薩尊を迎えて律宗寺院として中興「浄住寺」と改めるも一五六七年焼失。常住寺旧跡・嵯峨天皇佛舍利安置所と云われる。上記消息を「太平記」に伝える。

一六八九年、葉室頼孝が大慈普応禅師鉄牛道機を請じて黄檗宗として再興、この時に観音堂があり、「聖観音菩薩立像」を安置する。本堂他は京都市指定有形文化財で、方丈は伊達綱村の幼時の遺館・千代萩の鶴千代の御殿である。境内は京都市指定環境保全地域である。

第三十一番 福成寺

福成寺は、桓武天皇の延暦三年に奈良から長岡に都が移されたとき、新京の鎮護道場として建立されたと伝えられる。

本尊は十一面観音菩薩であり、別に大日如来像を安置する。それらはともに、藤原時代の代表作として美術史上に貴重な仏像である。又、当境内の蔵王権現堂は古来より霊驗あらたかなることでも有名であり、従古より権現堂を中心として毎年二月十一日に、村内国家安全五穀豊饒を祈る行講が連綿として伝えられている。これは、民族学上の貴重な無形文化財ともなっている。(地図は八ページ)

石 碑 ・ 造 園 西山石材商店

長岡京市 電話 (075) 951-1223番
長岡京市JR駅前通り (旧西国街道)
長岡京市神足 2-6-12

第三十二番 来迎寺

来迎寺は、寛正年間（一四四〇）綿空浄達上人によって浄土宗西山派の道場として開山されたと伝えられている。

本尊は、「物集女薬師さん」と呼ばれる阿弥陀如来で、来迎佛で左足を半歩前に出し両手に印を結んで上にあげ、極楽界からこの世にお出ましになった姿をしている。観音像は聖観音菩薩で、ゆったりとした座像がまつてある。

尚、山門をくぐると右手に薬師堂があり、向日市文化財の薬師座像を安置し、隣接した庭の片隅には、曼陀羅石塔婆、宝きよう印塔がまつてある。
（地図は八ページ）



向日市物集女町御所海道25
電話075 (921) 4978

第三十三番 宝菩提院

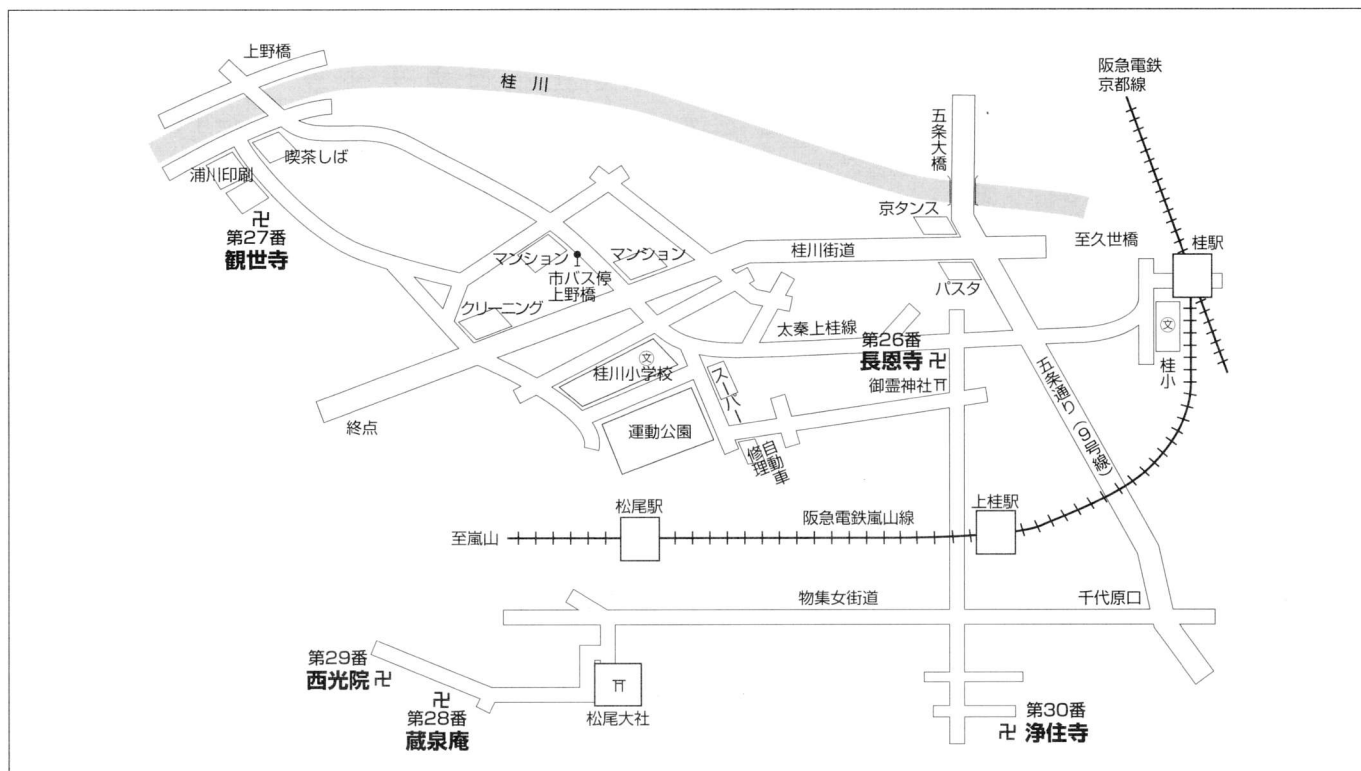
このお寺は、「仏華林山 宝菩提院 願徳寺」という。約千三百年前の白鳳八年（六七九）に持統天皇の願いによって向日市寺戸に創建されたお寺である。中興の開山としては、平清盛の弟の平教盛の子である小川法印忠快という人がおられた。そのほかにも多く親王方が住職をされた。

平安時代から鎌倉時代にかけては、天台密教の秘法を行い穴太流や西山流を産み出した大寺院であった、しかし応仁の乱と信長の兵火によって諸堂ごとく灰尽となり、江戸時代に家康の加護を受けたものの、平安時代の寺院の面影はなくなった。

昭和四十八年にこの大原野の地に庫裡を再建し現在に至っている。
（地図は二ページ）



京都市西京区大原野南春日町
電話〇七五（三三）三八二二



#♪♪ 無駄な保険料払ってませんか？

保険は高い買い物です。今が見直しの絶好のチャンス！ ♪♪♭

トータルリスクマネージメントを目指すNEW FACE

生命保険
損害保険

コンチェルト

お客様相談室 TEL 075-315-6612

住 所 〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町2番地1 プェネリジェール西五条2F
TEL 075-315-6612 FAX 075-315-6613
E-mail: concerto@silver.ocn.ne.jp

洛西の観音様に期待する

道澤康裕

京都・東京・大阪と三都市での長いサラリーマン生活。久し振りに関西に戻って来て、ふと西国三十三ヶ所霊場巡りの旅に出る気になりました。(観音さまへの想は、遠く学生時代に読んだ井上靖氏の十一面観音を求めている旅の文章に起因します。「いま最も心打たれることは、あのすばらしい観音さまたちが、それぞれの厨子や収蔵庫の中に今この瞬間もすつくり立っていることである。私がその前に立った時は、美術品であったものが、遠く離れてしまおうとまるで違ったものになってしまうのである」と…。私もいつの日か心の琴線に触れるすばらしい観音さまに立ち会いたいものと思いつつお祈りしましたので…。)

実際西国三十三ヶ所の旅をしてみて、それぞれのお寺は、風情があり清浄ムードがあふれなんとなく来てみて良かったという気分になります。又「私たちの心のあるさと、生きる喜び探しの旅」として多くの人の支持を得て、何百年に渡り連綿と受け継がれてきた意味も理解出来ますが、関西の二府五県の広い地域に点在し、忙しい私たちは、自動車、観光バスを利用することを余儀なくされます。帰りの時間が気になり、ひたすら終着に向かって急ぐ朱印帳の空白を埋めるスタンプラリーの印象が強く残りました。期待が大きい分、満願の喜びよりも、現在のあわただしい世相を反映したような、なにかやるせなさを感じたものです。

何時でも気が向いた時、気楽に余裕をもって、本来の巡礼の気分(信仰と観光)を味えないものかと思うようになった時、偶然京都西山の洛西観音霊場の話を聞きました。(室町時代にみやこ(京都)の女性を中心に季節の良い春や秋、農閑期や正月休みを利用して隣近所誘いあつて出かけたとのこと。)私も自分の足と眼で、洛西の自然や歴史に触れ、失われつつある昔の人の素朴な観音信仰の原点に立ち返り、豊かな時のうつろいの余韻に浸りたく、大事に大事に洛西の巡礼の旅を楽しみたいと思っています。

◆WEST京都豆知識◆

洛西は竹の里と呼ばれ竹の質・美しさともに日本随一といわれる、いままも自然を残す大丘陵地です。そして、二十一世紀への展望「健康・信仰・観光」にスポットをあてた新しい観光名所で「自分にとって心地の良いもの」を見つけられるところです。

歴史的に京都は古いお寺や庭園・国宝と観光資源が豊富ですが、近年、訴求方法に新鮮味が失いかけています。そこで、洛西(西山)は、室町時代からつづく「洛西三十三ヶ所観音霊場めぐり」のように、まだ目の目をみないキーコンセプトにあった観光資源に注目しました。その点が、洛西の歴史を現代にアレンジした東山に対比される西山(洛西)としての観光ポイントになります。

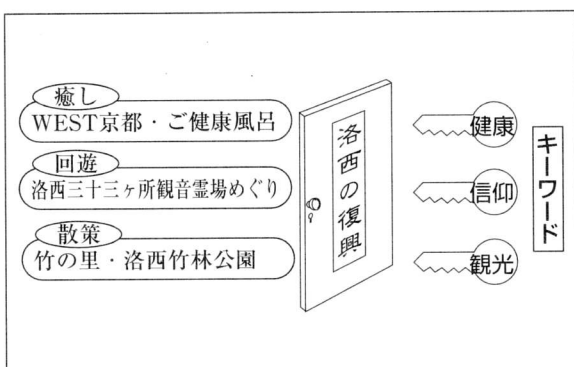
つまり、現代社会では、孤独になり過ぎ、精神的に悩みをかかえている人々がたくさんいます。洛西のお寺がそんな人々の為の駆け込み寺となり、住職さんの「活躍の場」であれば、不安解消の為に「洛西三十三ヶ所観音霊場めぐり」に参加する人達とのコミニケーションがとれる新たな目的をもつ観光スポットとなります。

また、癒しを考えた観光計画

として「WEST京都・ご健康風呂」

が実現すれば、体を癒す風呂を中心にしたコミニケーション施設として、子供からお年寄りまで一日ゆつくりと低料金で利用できる「癒しのゾーン」となるでしょう。

そして散策ウォーキングに適した洛西竹林公園は、大規模な洛西ニュータウン開発の際に既存の竹林を整備・保存したもので約4ヘクタールの回遊庭園です。約一二〇種三〇〇〇株の竹が植えられており、中央に竹の資料館や竹細工などの土産物店があります。園内随所に見られる約四〇〇体の石仏は地下鉄建設の折に発掘されたものです。



(大阪市在住 藤田和美)

大阪陸運局認証工場

各車種 (国内・国外) 販売 修理 板金

三井自動車

代表者 三井貞夫

工場 〒569-0091 高槻市梶原6丁目16番1号

電話 (0726) 69-0609 F A X (0726) 69-0604

観音さんの縁

京都新聞文化部 坂井輝久

通勤のバスの中は、ほとんど本を読んでいる。ところが、阪急桂駅に近くなると、ふっと窓の外に目をやる。鬱蒼と茂る神社の森を見上げ、次いでその境内の生け垣に白い駒札形の案内板を見つける。すると、なぜかホツとする。「洛西観音霊所、第二十二番札所、常楽寺」とある。そんなことが長く続いていたが、いつしか生け垣の枝が伸びて案内板は通りから見えなくなり、バスの窓外に視線を転ずることもなくなってしまった。

この秋突然、洛西観音霊場会が復興二十周年になると聞かされて、驚きの声を上げると同時に、長らく続けていたバス中の習慣を思い出し、翌朝思わず生け垣を子細に観察した。葉陰にわずかに白い案内板が見える。洛西観音霊場はすっかり息づいていたのだ。

十年ぶり位に楊谷寺の日下悌宏住職に電話をかけてみた。近隣の人たちの霊場めぐりは多いとはいえないが、最近は関東方面から問い合わせが舞い込み、小グループで何日も京都に滞在して霊場めぐりをする人たちがいること。再興時の住職よりは若い、三、四十代の次世代住職が霊場会を運営するようになり、新しいニーズに応えつつ二十周年を契機にさらなる盛り上げを企画していること。そうした近況を聞きながら、二十年前、洛西地域に根ざした観音霊場のわずかな江戸期史料の発見に端を発して、霊場会発起人会の結成、さらに霊場会の発足に至った経過を報道し、夏には霊場をめぐる連載記事を掲載して翌年「洛西の観音さん」という可愛い本づくりにかわった記憶が鮮やかに蘇って来た。こうしてみると人や記憶が不思議につながって来るところに、観音さんの妙智力や奇縁があるのかもしれないと思った。

いま地域学ということがいわれ始めている。洛西観音霊場は現在三市一町にまたがるが、かつて乙訓という一つの地域に根ざしていた。復興二十年を機に、さらに霊場の広がりやつながりを究め深めていくと、江戸期に信仰や生活でしつかりつながっていた一つの地域文化の掘り起こしになるように思える。

霊場巡りの日々と思う

高槻市在住 中平 久

還暦を機に職場を離れて、あちらこちらの霊場巡りを続けている。特に深い考えがあった訳でもなく、何となく、自然の多い道を花や樹々を見て歩いているうちに、古刹、霊場寺院を順不同で回るようになった。今では西国三十三所を二周、四国遍路を三周、小豆島と洛西のほとんどを周り終えている。

ここ数年のうちに巡拝者の急増ぶりが目につくようになった。どの霊場にも、定年前後の方々や若者そして家事から解放されたお母さんたちといった多彩な顔ぶれが見られる。

きっかけは様々でもその多くの方々が、今こうして元気に巡拝出来る健康に恵まれた喜びと、いわば仏の命をわが身で生きさせて頂いていることへの感謝をもつて回っている。

大気からのオゾン、地道からのマイナス・イオン、樹木からのフイトンチッドと芳香、河川のせせらぎ鳥の声、これらが脳内物質を活性化して免疫力を高め、成人病を予防することは今では常識となっている。こうした自然の恵みを十分吸収しながら歩くのだから、巡礼こそは心と身体を同時に調えてリフレッシュする究極の健康法なのである。

西国・四国はもとより優れた霊場であるが現地との往復自体が大変で、時間的経済的体力的に制約を受ける。

私たちには幸い「洛西観音霊場」がある。場所的に近いうえ、札所寺院間の距離も適当で、飽きずまた疲れもしない。半日もあれば何カ寺かは十分回れる。それに時には、住職の方にお茶やお話を頂戴できるかも知れない。私も何度かおもてなし頂き恐縮した。こんなアットホームな札所は全国にも例はあるまい。

札所と札所の間もまた霊場である。「無利不現身」の三十三身は道中に遍満してられる。電車を利用して或いは現地で車を留めて軽装で楽しく巡拝されるようお勧めしたい。

世界の逸品を皆様へ。

無農薬栽培
ミナス高原コーヒー

ドイツの貴品
フランケンワイン

FRANKEN
WEIN



製造発売元 株式会社 栄興舎／喫茶 IVY

京都府長岡京市天神2丁目26番10号(村田製作所内)
TEL.075-955-5040 FAX.075-956-0785

京都洛西靈場札所案内

第一番	西 山善峯寺	電話〇七五(三三二)〇〇二〇 〒六〇一・一三三三 京都市西京区大原野小塩町一三七二	住職 掃部 光暢
第二番	西岩倉山金蔵寺	電話〇七五(三三二)〇〇二三 〒六〇一・一三三四 京都市西京区大原野石作町	住職 丹羽 隆明
第三番	小塩山十輪寺	電話〇七五(三三二)〇一五四 〒六〇一・一三三三 京都市西京区大原野小塩町四八一	住職 泉 浩洋
第四番	安岡山西迎寺	電話〇七五(三三二)〇二四 〒六〇一・一五三三 京都市西京区大原野南春日町六五一	住職 長澤 真慧
第五番	華台山三鈷寺	電話〇七五(三三二)〇〇二二 〒六〇一・一三四 京都市西京区大原野石作町一三三三	住職 大谷 祐康
第六番	大慈山乙訓寺	電話〇七五(九五二)五七五九 〒六〇一・八二四 長岡京市今里三丁目一四一七	住職 川俣 海淳
第七番	報国山光明寺	電話〇七五(九五五)〇〇〇二 〒六〇一・八二一 長岡京市粟生西条ノ内一六一	住職 松尾 全弘
第八番	粟生山觀音寺	〒六〇一・八二一 長岡京市粟生清水谷 ※集印は七番光明寺で受付	
第九番	清巖山長法寺	電話〇七五(九五二)九〇七五 〒六〇一・八二二 長岡京市長法寺谷田一六	住職 川西 寂紹
第十番	楊谷寺柳谷奥ノ院	電話〇七五(九五六)〇〇一七 〒六〇一・八五五 長岡京市浄土谷堂ノ谷一	住職 日下 悌宏
番外	浄土山乗願寺	電話〇七五(九五七)四一四八 〒六〇一・八五五 長岡京市浄土谷堂ノ谷四	住職 日下 俊諦
第十一番	撰取山正覚寺	電話〇七五(九五六)〇三三二 〒六〇一・八〇八一 乙訓郡大山崎町下植野宮脇九九	住職 森田 俊尚
第十二番	延命山卒台寺	電話〇七五(九五二)〇六四一 〒六〇一・八二八 長岡京市馬場二丁目二一四	住職 中林 準超
第十三番	大悲山觀音寺	電話〇七五(九五六)四七八〇 〒六〇一・八三三 長岡京市東神足二丁目二二四	住職 阿部 法隆
第十四番	恵解山勝龍寺	電話〇七五(九五二)六九〇六 〒六〇一・八三三 長岡京市勝竜寺一九一五	住職 國定 道晃
第十五番	普陀落山觀音寺	電話〇七五(九三二)二九〇七 〒六〇一・八四八七 京都市伏見区羽束師菱川町三 ※集印は六番乙訓寺で受付	住職 川俣 海淳
第十六番	星水山泉福寺	電話〇七五(九二二)三八八八 〒六〇一・〇〇〇三 向日市森本町四ノ坪三〇一一	住職 徳岡 亮英
第十七番	慈眼山万福寺	電話〇七五(九二二)五二六九 〒六〇一・八二〇六 京都市南区久世大藪町三二九	住職 大野 初男

各宗総本山御用達



法堂三合

京仏具・京仏壇・軸表装
仏像修理・密教法具専門製造

本社 ☎604-8004 京都市中京区三条小橋 ☎075(221)0553(代表) FAX075(221)2407 振替01000-3-2534
山科展示場 京都市山科区御陵進藤町18-5 ☎075(581)4941

番 外	栖雲山安禪寺	電話〇七五(九二)七〇五一	千六〇一・八二二	京都市南区久世上久世町六九	住職 小川 恭準
第十八番	朝日山西圓寺	電話〇七五(九二)三八三二	千六〇一・八二三	京都市南区久世築山町四二	住職 近藤 宣雅
第十九番	醫王山蔵王堂光福寺	電話〇七五(九二)三六二五	千六〇一・八二二	京都市南区上久世町八二六	住職 本多 功道
第二十番	青柳山称讚寺	電話〇七五(三八)八〇八三	千六二五・八〇四	京都市西京区牛ヶ瀬青柳町二四	住職 嶋本 弘修
第二十一番	念佛山長福寺	電話〇七五(三八)二九六六	千六二五・八〇六五	京都市西京区下津林楠町一〇五	住職 奥田 亮一
第二十二番	千手院常樂寺		千六二五・八一〇七	京都市西京区川島北裏町二五	代表者 中村 末善
第二十三番	久遠山地蔵寺	電話〇七五(三八)三五三八	千六二五・八〇七一	京都市西京区桂春日町九	住職 寺田 智誠
第二十四番	中桂山念仏寺		千六二五・八〇一六	京都市西京区桂久方町	
第二十五番	吉祥山阿弥陀寺	電話〇七五(三八)六〇一四	千六二五・八〇八五	京都市西京区桂子代原町三二	住職 赤壁 泰憲
第二十六番	靈鷲山長恩寺	電話〇七五(三八)五四一七	千六二五・八三八	京都市西京区上桂西居町八一	住職 守中 隆宣
第二十七番	大悲山觀世寺	電話〇七五(三八)四六〇四	千六二五・八〇〇一	京都市西京区桂上野北町二九	住職 中西 随功
第二十八番	宝珠山蔵泉庵	電話〇七五(八七)四九三九	千六二六・〇〇一五	京都市西京区嵐山ノ下町一五	住職 早瀬 慈道
第二十九番	二尊山西光院	電話〇七五(八六)一九八六	千六二六・〇〇〇五	京都市西京区嵐山山田町一	住職 吉田 隆道
第三十番	葉室山浄住寺	電話〇七五(三八)六〇二九	千六二五・八二七六	京都市西京区山田開町九	住職 榎原 直樹
第三十一番	宝珠山福成寺	電話〇七五(三九)〇四三四	千六二五・八一五二	京都市西京区榎原内垣外町二四	住職 道前 宗閑
第三十二番	紫雲山来迎寺	電話〇七五(九二)四九七八	千六一七・〇〇〇一	向日市物集女町御所海道二五	住職 森 襄純
番 外	法寿山正法寺	電話〇七五(三三)〇一〇五	千六一〇・一一五三	京都市西京区大原野南春日町一〇二	住職 吉川 弘哉
第三十三番	仏華林山宝菩提院	電話〇七五(三三)三八三三	千六一〇・一一五三	京都市西京区大原野南春日町二三三二	住職 中村 豪瑛

お問い合わせ・ご用命は、

アムストラベル

Tel.075-956-2363 Fax.075-956-2452



国内旅行

海外旅行

各種チケット販売

旅行業(第3種登録) 株式会社 **アムス** 京都府長岡京市天神2丁目26番10号 〒617-8555

京都洛西観音札所再興の由来

柳谷楊谷寺 日下 悌宏

昭和五十年頃のことであるが、当時西山浄土宗頼松内局で庶務部長をさせていたいた折、西山国師顕彰事業を森法主の指示によって西山国師十六霊場の開創を西山三派の霊場顕彰委員にして設立させたことがある。その時現在洛西四番札所、大原野西迎寺の先住長沢慧学師が、先代亮歓師が西の岡三十三所の観音霊場の資料一切を保存しているの、この際再興させてはどうかという提案があった。そこで早速札所対象の有志寺院に呼びかけ相談したところ、賛同いただき発起人会を発足させることになった。その当時当山に取材で出入していた京都新聞社洛西支局の坂井記者は、札所再興の事業に大いに賛同していただき京都新聞社として関わっていくことを表明してくだされた。後に出版された『洛西の観音さん』は坂井記者が各札所に歩いて刊行されたものである。

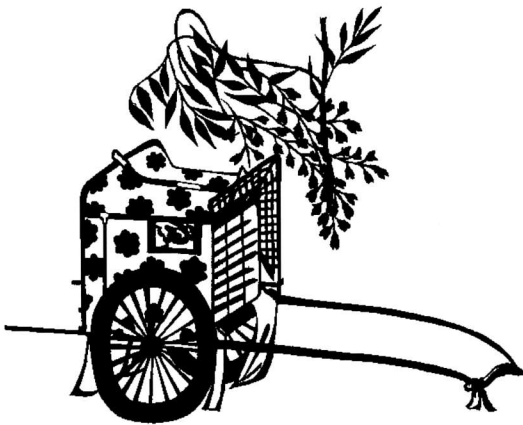
この札所は室町時代足利義満の世、京都の官女や武家の女性を中心にして西の岡札所巡りが行なわれたといわれる。当時桂川以西はまだ都ではなかったから、都の女性にとっては縁者の菩提を弔う巡礼以外に、レジャー的な要素もあったのではないかと思われる。江戸時代、寛政年間の御詠歌の額を残す札所がみつかったこともあり、泰平の世にはこの札所参りが盛んであったことがうかがわれる。明治の世になり、廃仏毀釈がおこって、寺院が民の手で壊されるということもあり、この札所にも影響し、すたれていったと思われる。一世紀の間すたれていた札所が、なんとか昭和五十年再興を見、その後二十年を経て、志を持った札所の新しい住職達の手で記念事業が行なわれようとしていることは、再興当時の発起人の一人として喜ばしいかぎりである。

洛西観音霊場会役員

会長	第1番	善峯寺	掃部光暢
事務局長	第10番	楊谷寺	日下悌宏
理事	第2番	金蔵寺	丹羽隆真
理事	第21番	長福寺	奥田亮一
理事	第32番	来迎寺	森 襄純
理事	第14番	勝龍寺	國定道晃
會計	第20番	称賛寺	嶋本弘修
庶務	第18番	西門寺	近藤宣雅
會計監査	第7番	光明寺	小林純承
會計監査	第12番	卒台寺	中林準超

編集委員

第10番	楊谷寺	日下悌宏
第13番	観音寺	阿部法隆
第27番	観世寺	中西随功
第14番	勝龍寺	國定道晃
第11番	正覚寺	森田俊尚



〔編集後記〕

二十一世紀を目前にして洛西観音霊場会も一つの大きな節目を迎えたようである。今までは西国観音霊場や新西国観音霊場に隠れたマイナーな霊場であったが、しかし知る人ぞ知る霊場でもあったよう、特に一泊二日で回れるということが注目されたようである。京都駅付近に二泊して回れる霊場など考えてみればこの洛西観音霊場において他にあらうはずがない。そこで名称も新たに京都洛西観音霊場とまさに新世紀に相応しいものに改名されたのである。高齢化社会や福祉問題で山積状態にあるいまの日本、京都の街もこの霊場巡りを真剣に考えているようである。記念号『らくさい』がこのような時期に発刊できることに些か観音さまの妙智力を感じないではいられない。

尚、各寺院の案内に付いては、住職より戴いた原稿を紹介いたしました。

洛西観音霊場11番 正覚寺 乙訓郡大山崎町下植野宮脇99 電話 075 (956) 0322	洛西観音霊場14番 勝龍寺 長岡京市勝龍寺19-25 電話 075 (951) 6906	洛西観音霊場27番 観世寺 京都市西京区桂上野北町29 電話 075 (381) 4604	洛西観音霊場13番 観音寺 長岡京市東神足2丁目12-4 電話 075 (956) 4780	洛西観音霊場10番 柳谷奥ノ院 長岡京市浄土谷堂ノ谷2 電話 075 (956) 0017	洛西観音霊場1番 善峯寺 京都市西京区大原野小塩町1372 電話 075 (331) 0020
--	--	---	--	---	---



再興二〇周年記念号

発行所

京都洛西観音霊場会事務局

楊谷寺

発行日

平成十一年十二月十四日 千六二七・〇八五五

長岡京市浄土谷堂ノ谷二

TEL

〇七五・九五六・〇〇一七